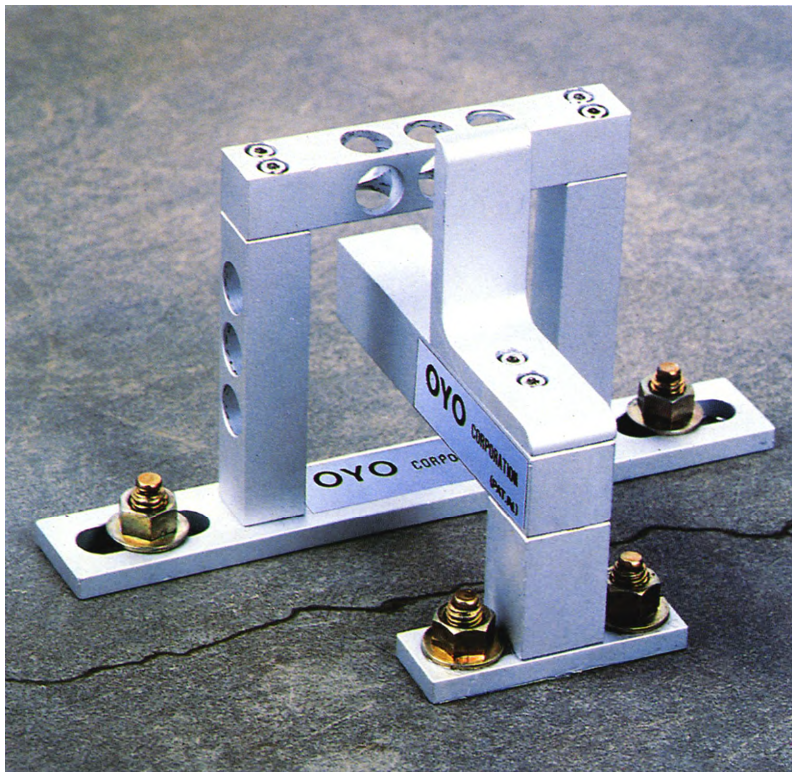


三次元変位測定器

3D ゲージ



<概要>

構造物の安定を計るうえで、構造物に生じた変状や変位を観測することは欠かすことができません。

3Dゲージは構造物に生じたクラックや施工継目の変位を測定するため、単純な構造ながら、3方向の変位を観測することができます。

<特長>

- 1台で3方向の変位測定ができます。
- 構造が単純なので、測定には熟練を要しません。

<計測対象物>

- トンネル・ダム・水路などのコンクリート構造物の施工継目
- トンネル・ダム・水路などのコンクリート構造物内に発生したクラック
- 建築構造物のひび割れ

<仕様>

測定に必要なシステム構成

● 3Dゲージ本体

<付属品>

アンカーボルト 4本

六角レンチ (2.5mm) 1本

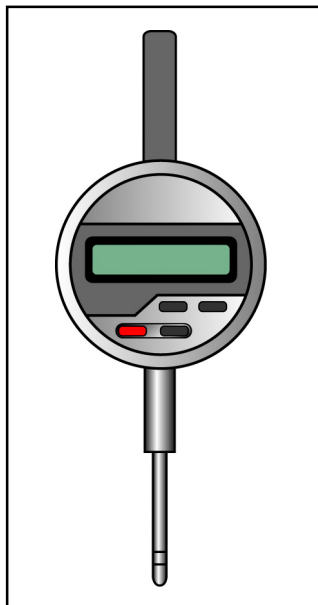
● 3Dゲージアタッチメント

(校正器具)

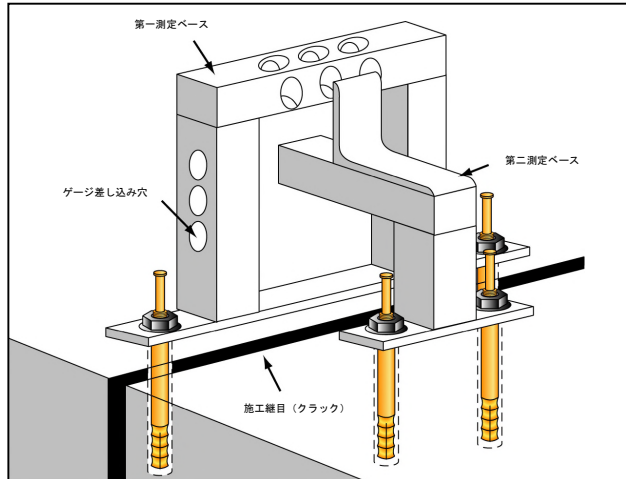
● デジタルリニアゲージ

(ミツトヨ製)

■ デジタルリニアゲージ

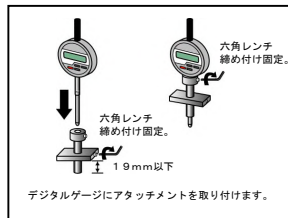


■ 現場設置



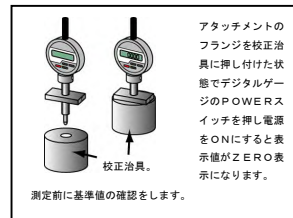
アンカーボルトをベースに入れた状態で、穴にセットして試みます。
3方向ともゲージ差し込み穴の真ん中の穴が、使えるようにセットします。

■ 校正 1



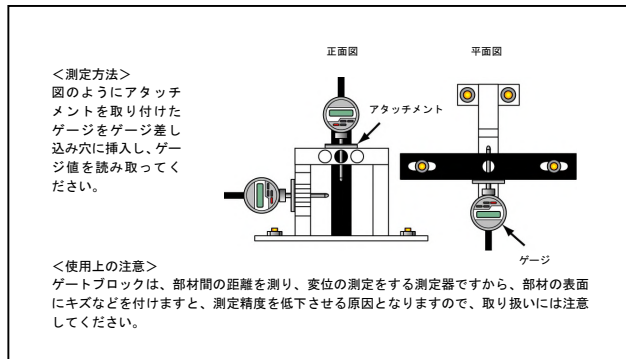
デジタルゲージにアタッチメントを取り付けます。

■ 校正 2



測定前に基準値の確認をします。

■ 現場測定



<測定方法>
図のようにアタッチメントを取り付けたゲージをゲージ差し込み穴に挿入し、ゲージ値を読み取ってください。

<使用上の注意>
ゲートブロックは、部材間の距離を測り、変位の測定をする測定器です。部材の表面にキズなどを付けますと、測定精度を低下させる原因となりますので、取り扱いには注意してください。

■ データ整理

校正2での値をZEROとし、現場で測定した値をそれぞれX, Y, Z (3方向) とすると、データの整理は、次のようになります。

[初期測定地] - [その他の測定地] = [初期値からの変位量]
 $X_1 - X_n = \Delta X$
 $Y_1 - Y_n = \Delta Y$
 $Z_1 - Z_n = \Delta Z$
 となります。

応用地質株式会社 ● 製品に関するお問い合わせは、計測システム事業部・サービス開発部にて承ります ● 仕様は製品改良のため、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



JQA-2772
計測システム事業部

- 計測システム事業部 サービス開発部
：茨城県つくば市御幸が丘43番地 ☎029-851-5026
- ホームページ
：http://www.oyo.co.jp/ E-mail: seihin@oyo.jp
- 本社
：東京都千代田区神田美土代町7番地 ☎03-5577-4501
- 東京支社
：☎048-652-4933 関西支社 ☎06-6885-6357
- 北海道支店
：☎011-863-6711 四国支社 ☎089-925-9516
- 東北支社
：☎022-237-0471 九州支社 ☎092-591-1840
- 中部支社
：☎052-793-8321

- テクニカルサポートセンター ☎029-851-6564 ☎029-851-7290
 - お客様相談室 ☎029-851-6574 ☎029-851-7290
- ※月～金:受付時間 9:00～18:00、土日祝日及び年末年始はお休みさせていただきます。

■ 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規定並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規を正確に読み、必要な手続きをお取りください。なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。